

児童虐待死亡事例検証会議の検証結果等について

1 事例の概要

(新聞記事より要約)

令和2年4月17日に、市内の女性から消防本部に119番通報があり、救急隊員が生後9ヶ月の本児を市内の病院に搬送したが、死亡が確認された。

無職の母親が本児の殺害を認めたため、18日に殺人容疑(窒息死)で逮捕となる。

母親は「子どもを育てられなかった」などと供述した。

自宅には、同居家族がいた。

2 検証会議について

国通知に基づき次のとおり開催。

(1) 目的

虐待による児童の死亡事例等について、事実の把握を行い、死亡した児童の視点に立って、発生原因の分析等を行い、必要な再発防止策を検討するために実施。

※ 事例に関係していた当事者間による内部検証であり、事例を通じて自己点検を行い、機関内における再発防止策を検討し、県の検証結果を受けて、具体的に実施すべき改善策を検討。

(2) 開催日等

令和2年8月25日(火) 総合保健福祉センター

(3) 出席者

児童相談所、市の関係機関等職員

3 検証報告書

- ・ 検証会議における協議に基づき報告書を作成し、12月に県へ提出。
- ・ 今後、県において検証部会の開催を経て、県検証報告書を作成予定。
- ・ 県の検証報告内容を関係機関において共有し、児童虐待の予防に繋げる。